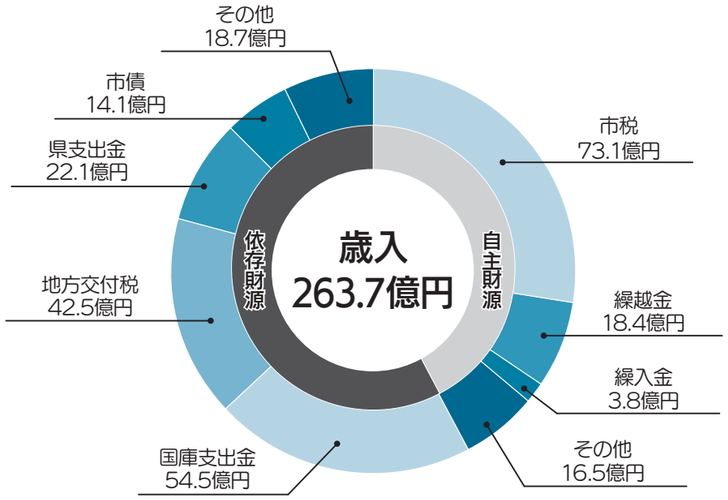
# 令和７年度決算報告

問 財政課（☎53-4486）

決算は、家庭でいう「家計簿」のようなものです。市にどのようなお金が入ってきて、どのようなことに使われているのか。市の財布の中身を明らかにするため、令和７年度一般会計の決算を公開します。

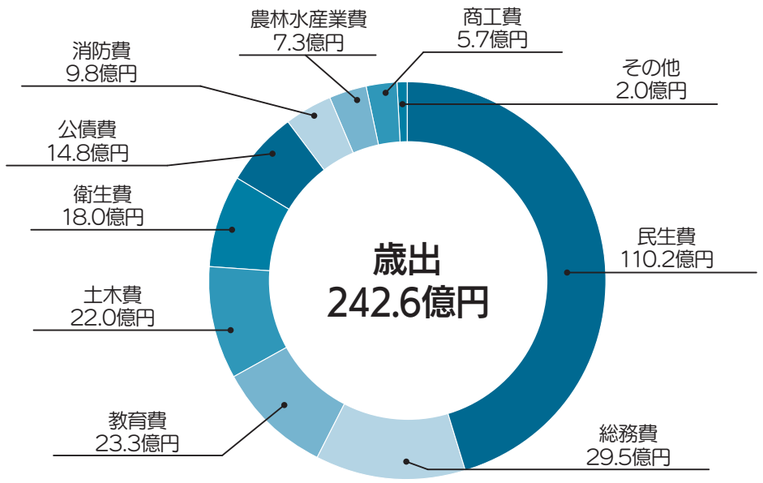



**歳入**は、前年度比 4.0%の増加となりました。内訳として、市税は前年度比 1.6%増となり、過去最高額だった昨年度の 71.9 億円を更新しました。定額減税の終了や給与所得の増加に伴い個人市民税が増加したほか、固定資産税や軽自動車税も増加しました。

さらに国庫支出金は物価高騰対策への補助金などにより、前年度比 6.9%増、市債は前年度比 27.8%増となりました。

**歳出**は、前年度比 3.2%の増加となりました。内訳として、消防通信指令システムの更新により消防費が前年度比 68.9%増加したほか、生活応援商品券の配布を開始したことで商工費についても前年度比 49.7%増加しました。

また、JR 羽犬塚駅周辺地区の防災まちづくりを目指す都市構造再編集中支援事業費が増加したことに伴い、土木費についても前年度比 14.2%増となりました。






# 市の決算状況まとめ

## 単年度収支は約 2.4 億円の黒字

令和７年度一般会計で、歳入から歳出を差し引いた金額は 21 億 739 万円。そのうち令和８年度に持ち越して実施する事業の財源を除いた実質収支は 19 億 5,229 万円。この実質収支には、令和６年度からの繰越額が含まれているため、これを差し引くと令和７年度の１年間での収支（単年度収支）は２億 4,484 万円の黒字となりました。




## 市民１人当たりの年間支出額は　49万 7,622円

（令和 8年 3月末日住民登録人口＝ 4万 8,755人）

### ◆目的別の支出額（1 人当たりの額）

| 歳出（目的別） | 決算額 |
|---|---|
| 民生費（子育てや高齢者などへの支援） | 22 万6,058 円 |
| 総務費（市役所の管理、防災、選挙など） | ６万464 円 |
| 教育費（小・中学校の管理、教育支援など） | ４万7,781 円 |
| 土木費（建物や道路などの工事や修理） | ４万5,101 円 |
| 衛生費（健康づくりや環境保全など） | ３万6,857 円 |
| 公債費（市が借りたお金の返還） | ３万434 円 |

| 歳出（目的別） | 決算額 |
|---|---|
| 消防費（消防や救急活動） | ２万11 円 |
| 農林水産業費（農林水産業への支援） | １万4,899 円 |
| 商工費（店や会社などへの支援） | １万1,688 円 |
| 議会費（議員や議会に関すること） | 3,686 円 |
| 労働費（労働政策など） | 389 円 |
| 災害復旧費（災害からの復旧） | 254 円 |

## 市の貯金と借金はどのくらい？（令和 8年 3月末日現在）

### ◆基金残高

市役所の建て替えに備えた「庁舎建設基金」への積み立てなどにより、基金全体で前年度比４千万円の増加となりました。

### ◆市債残高

令和７年度中に新たに 14.1 億円を借金し、その一方 13.8 億円の返済をしたため、前年度比３千万円の増加となりました。将来の財政負担が重くなりすぎないよう、今後も計画的な市債の発行を心がけます。

**ワンポイント解説**

**■基金とは**
不測の事態や将来に備えた貯金

**■市債とは**
計画的な借金

